



【日越大学メールマガジン Vol.21 2019 年 2 月号】

日越大学は、日本とベトナムの両政府により、両国の友好と結束の象徴として新たに設立された大学で、2016 年 9 月にベトナム・ハノイで開校しました。現在修士課程に 2 期生 82 名、3 期生 80 名の学生が在籍し、共通科目の日本語と英語の習得に加え、地域研究 (MAS)、企業管理(MBA)、公共政策(MPP)、ナノテクノロジー(MNT)、環境工学(MEE)、社会基盤(MIE)、気候変動・開発(MCCD)の各専攻プログラムを勉強しています。

また、2018 年に入学した第 3 期生には、ミャンマーから 2 名、ナイジェリアから 4 名の計 6 名の外国人学生も入学し、国際大学としての第 1 歩を歩み始めました。



【今月のトピックス】

1 日越大学ニュース

VJU オープンキャンパス開催

2 月 23 日 (土)、日越大学にて第 2 回目となるオープンキャンパスが開催されました。今年も昨年に続き、150 名を超える大勢の来訪者がありました。日越大学のオープンキャンパスでは、各専攻プログラムの日本人・ベトナム人教員が直接プログラムの紹介を行い、キャンパスや研究室を案内します。参加した学生からは多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。これとは別に、日越大学の教職員や現役学生が中心となり、茶道・浴衣の試着・日本語講座など、様々な日本文化体験プログラムも実施され参加した学生たちは大いに楽しんでいました。



ANA インターンシッププログラムに参加するため、日越大学から 4 名の学生が渡日

2月18日～21日まで、ANA ホールディングス株式会社(ANA HD)が日本で実施をしたインターンシッププログラムに、日越大学の大学院1年生4名が参加をいたしました。これは、ANA HD と日越大学が2018年9月に締結をした包括連携協定に基づき、ANA HD よりご支援いただいたもので、ベトナムからは本学の学生が唯一の参加となります。参加した4名は、ANA HD の講師陣から航空業界について多く学び、一緒に参加した日本人学生とディスカッションをする中で、様々なアイデアに触れ、日本人が重視するチームワークについても理解を深めて帰国をいたしました。



日本文化講座の開催

日本語教育のPGである宮崎先生のお口添えにより、2月14日、荒汐部屋の力士12名を始め、荒汐親方（元小結大豊）、女将、行司、床山と後援会の総勢36名をお迎えし、本学の学生との交流会が実現いたしました。親方による相撲の説明、MASの学生が作成したテトに関するクイズ、腕相撲や紙相撲など、参加者全員が楽しめるイベントになりました。司会のMASの学生も、会を盛り上げられるほど、流暢な日本語を披露してくれました。



福岡女学院大学スタディ・ツアー

2月19日（火）午後、日越大学において福岡女学院大学のスタディ・ツアー（引率：国際キャリア学部櫻田陽一教授）を受け入れ、大学紹介ならびに学生交流プログラムを実施しました。学生交流プログラムでは、福岡女学院大学の学生8名から英語による大学の説明を受けた後、日越大学の学生から、ベトナムの旧正月の風習や、特別な食べ物について紹介しました。福岡女学院大学スタディ・ツアーの受け入れは、昨年度に引き続いてのことで、今年も日越双方の学生にとって、たいへん有意義な時間になりました。



「日本メコン地域経済委員会」訪ベトナム・ラオス経済ミッションの来学

2月25日(月)に小林洋一日本メコン地域経済委員会委員長(伊藤忠商事株式会社副会長)を团长とする訪ベトナム・ラオス経済ミッションの団員29名が日越大学を訪問されました。当日は、古田日越大学学長から日越大学の概要説明をおこない、その後、Mr. Nguyen Quang Dieu(2期生/地域研究(日本研究))が昨年でのインターンシップに関するプレゼンテーションをおこないました。また、Ms. Le Thi Thuy Trinh(3期生/地域研究(日本研究))、Ms. Luong Thi An(3期生/公共政策)のそれぞれの学生も参加し、学生とミッションメンバーの方々と和やかに歓談がおこなわれました。

ミッションメンバーの方から学生に対して、「ベトナム人学生の多くが、日本を初め外国に留学している状況の中で、何故、日越大学を選んだのか?」という質問に対して、それぞれの学生は、「日本への留学経験があり、日本の文化に触れて、更に日本についてもっと知りたいと思った。」「日本語習得のために日本へ留学した際に日本に興味を持ち、更に日本、日本語について勉強したいと思った。」「家族がいるので、家族と一緒に暮らしながら、「政策の仕組み」について、更に理解して、将来は「政策」を立案する立場になりたい。」との回答に対して、ミッションメンバーの方々から、日越大学の学生の真面目な姿勢・態度に共感された様子でした。



2 2018年インターンシップを振り返って

昨年から今年にかけて、第2期生の日本でのインターンシップがおこなわれました。

そこで、今月号から3月号にかけて、日本でのインターンシップを終えた学生の声をお伝えします。今月は、社会基盤プログラムの Le Viet Hung さん、公共政策プログラムの Dang Thi Bich Thao さんからの声をお伝えします。

なお、掲載に際して、学生の感想、インパクト等を尊重し、原文のまま掲載していますので、宜しくご理解の程お願いします。

【社会基盤プログラム】

Name: Le Viet Hung

Program: Master Program in Infrastructure Engineering

From September to December 2018, I had a chance to head to Japan, Tokyo to work on a lab as an intern at the University of Tokyo (Todai). Before coming to Todai, some friends warned me that the Japanese work a lot and it requires more efforts at the most famous university in Japan. My first day at the lab was very hectic. And I knew that my



next few days were going to be even more hectic. The official working hours here are from 10 AM to 6 PM. But the kind of work culture which I saw in the lab was very amazing. People in the lab used to work from 10 AM to midnight. The fascinating thing which I found is that they do not enforce these long working hours on to students or faculty. But they have created a work culture where people feel ashamed if they leave from work early. So when the new members join the lab, they themselves follow the same work culture.

During my stay in Japan, I was greeted with great hospitality. Many colleagues were patient with my lack of the language, and the technical staff in my laboratory even downloaded a translation app to better communicate with me.

As for what I did with my time outside the lab, the list goes on and on. From trips with my professors to Yokohama, to sitting in on Japanese class, to taking hot spring baths, to evening walks in Tokyo's streets, to the tastiest dinners with my roommates in the hotel. I experienced a time like I never had before. My time outside the lab still consisted of travelling with my friends. Thinking back on it, it truly has been a very valuable, incredibly fulfilling, enormously enriching, and indescribably enjoyable internship. The time I spent in Japan last year will remain a remarkable chapter of my life. My time in Japan made me love the country, its people, and its culture. I will do my best to find a way back to Japan again someday. Thank you, VJU and JICA, for providing me what has truly been a treasure of a lifetime.

【公共政策プログラム】

My name is Dang Thao, I am a student of the Master Program in Public Policy, Vietnam – Japan University. From September to December 2018, I spent 3 months internship at the University of Tsukuba, Japan. During the internship, I spent most of my time conducting my master research under the instruction of my supervisor.

I also attended a class in regional and urban science where I gained interesting knowledge on spatial economics. In addition, I had chance to participate



in many interesting fields trips to various Government agencies, research institutions and companies. The internship in Japan not only supported me to improve my research skill but also help me to understand more on the operation of Japanese Government at both local and central levels. The active academic life in Japan was very impressive to me and I do hope to have chance coming back here to pursue my further studies.

3 今後の主な予定、行事（予定）

- ✦ 3月4日 次期フェーズ分科会開催
- ✦ 3月7日 富山県高等学校生の海外派遣事業受入れ
- ✦ 3月9日 学生募集説明会開催
- ✦ 3月16日 Training Workshop “R&D Activities in Malaysia and Vietnam”開催
- ✦ 3月22日 福岡市ベトナムミッション来訪
- ✦ 4月18日 第4回日越大学理事会開催
- ✦ 4月20、21日 日越大学ジョブフェア

4 人事往来

➔ 離任

- ✧ 3月23日 桂良太郎専門家（プログラム運営・実施：公共政策プログラム）
- ✧ 4月1日 中島淳専門家（プログラム運営・実施：環境工学プログラム）

➔ 着任

- ✧ 3月21日 岡本直久専門家（プログラム運営・実施：公共政策プログラム）
- ✧ 3月25日 谷口邦生専門家（大学運営強化）
- ✧ 3月30日 佐藤圭輔専門家（プログラム運営・実施：環境工学プログラム）
- ✧ 3月31日 柳定賢専門家（プログラム運営・実施：グローバルリーダーシッププログラム）
- ✧ 3月31日 田中清子専門家（プログラム調整：学務）

5 日越大学からのお知らせ

2019年入学試験日程のお知らせ

日越大学修士課程第4期生の募集が始まりました。

昨年は、初の外国人留学生の入学があり、また、今年も日本人大学院生の長期インターンシップを受け入れるなど、学生支援体制も少しずつですが、整備されてきました。

経済発展著しい、熱気あふれるベトナムでの修士課程留学に興味関心をお持ちの方がいれば、是非募集案内をお知らせください。受験から渡航、就学、卒業まで、現地日本人スタッフが間に入って、サポートしてまいります。

一次試験 出願締切：2019年3月18日（月）

試験日程：2019年3月22日（金）～4月1日（日）

（インターネット面接可。日程や試験項目の詳細はプログラムによって異なります）

二次試験 出願締切：2019年7月19日（金）

試験日程：2019年7月22日（月）～31日（水）

（インターネット面接可。日程や試験項目の詳細はプログラムによって異なります）

入試情報 URL：<http://admission.vju.ac.vn/>

日越大学サマープログラム 2019 の募集について

昨年第2回目を開催し、たいへんご好評をいただいたサマープログラムを今年も開催する予定です。期間は8月18日(日)～28日(水)頃、費用は昨年と同じ800ドル程度を予定しています(いずれも変更の可能性あり)。

詳しい募集案内は3月下旬頃にホームページに掲載するとともに、次回のメールマガジンにてお知らせしますので、ご関心を持ちそうな学生さんに、是非お知らせください。



【お問い合わせ先】

日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会

Tel: +84 (0) 247-306-6001

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

日越大学 HP <http://admission.vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook (ベトナム語) <https://www.facebook.com/vju.edu.vn/?fref=ts>

日越大学 Facebook (日本語) <https://www.facebook.com/jicavju/>

JICA HP <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/040/index.html>

【メール配信停止・変更】

本メールマガジンの配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、お手数ですが、日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会 mail.magazine@vju.ac.vn までご連絡頂ければ幸甚に存じます。